



LOGISTICS NIPPON

物流ニッポン

2011年(平成23年)

4/14

(木曜日)

発行/月曜日・木曜日 第3395号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2011 (1969年4月1日第3種郵便物認可)

イーソーコ事業に本腰

ゲイソー・ロジスティクス(古川浩延社長、広島県東広島市)は、グループ会社の芸備倉庫(古川明子社長、広島市南区)がトランクルームなど一般消費者向けの事業を行っているのに対し、企業向けのロジスティクス事業を展開。飲料を中心にしたサードパーティー・ロジスティクス(3PL)を通して、サプライチェーン・マネジメントを支えている。

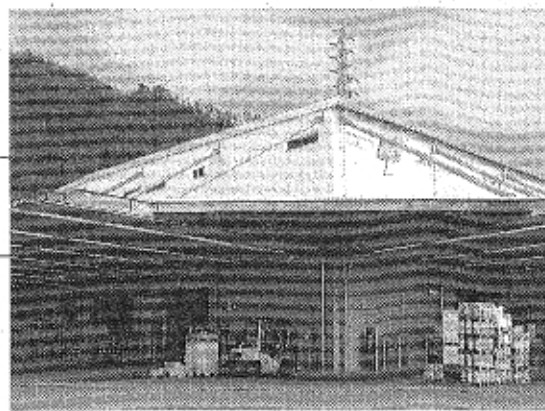
そんな中で、今年度も引き続き強化していくのが安全と品質だ。これまでも協力運送会社を交えた事故防止対策や品質向上への取り組みを強力に推進してきたが、ゲイソー・ロジの古川社長は「現場力をさらにアップさせ、底上げを図って内部統制を強化したい」と話す。アルコール検知器は既に3年前から導入し、万全の体制を敷いている。

足元を固めると同時に、可能性を秘めた分野には経営資源を注いでいく。今月からホームページ(HP)を刷新し、イーソーコ(遠藤文社長、東京都港区)が展開する日本最大の倉庫物

不動産専門家も採用

ゲイソーロジ

現場力をさらにアップさせ、底上げを図る



件、物流不動産情報ポータルサイトの中国地区での運営に本腰を入れる。不動産情報と同時に物流サービスも提供し、新たな3PLの需要を掘り起こす狙いだ。

イーソーコ事業は5年前

に芸備倉庫が手掛けたが、ゲイソー・ロジに移管。新しいHPは芸備倉庫と一体的な運用をしながら、物流不動産の問い合わせに際する仕組みを構築し、フォロ

ーアップ体制も強化する。既に不動産の専門家を採用して営業しており、掲載物件や問い合わせは山陽地区を中心に増加している。

イーソーコの全国ネットワークを活用しながら、今後も情報提供能力をさらに高める方針。また、将来的には、中国5県にパートナーとなる倉庫会社を確保し、きめ細かいフォローができるようにしていく。

(江藤 和博)